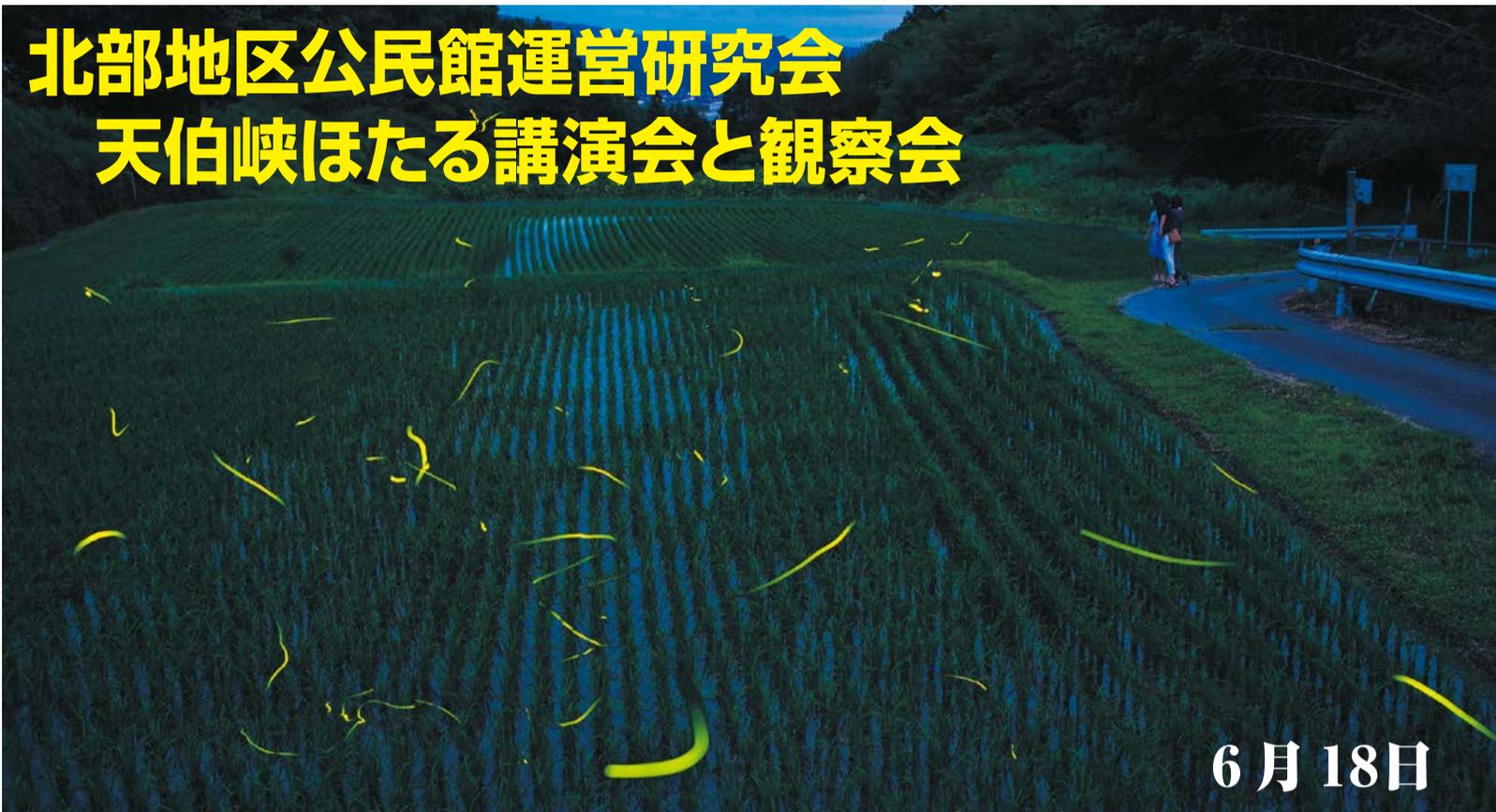


北部地区公民館運営研究会 天伯峡ほたる講演会と観察会



6月18日



第725号

発行人 ● 豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人 ● 長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村

(7月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,344人
女 3,373人
総人口 6,717人
世帯数 2,222戸

せわしない現代に 癒されたい『ほたる』

北部五町村の各公民館の館長・主事・各町村住民を対象に、令和三年六月十八日(金)に「北部地区公民館運営研究会」が高森町で開催された。研究会の内容は前半では高森町やすらぎ荘(山吹支所)にて信州大学特任教授 藤山静雄先生による講演が行われ、後半はやまぶき天伯峡に移動してほたるの観察会を行った。

研究会前半で行われた藤山先生の講演内容は「ホタルの生態とホタルも棲めるよい自然」。

ホタルは日本で馴染みが深く、下伊那地域でも初夏になるとホタルが確認できる。なかでも一般に馴染みがあるのがゲンジボタルとヘイケボタル。藤山先生はホタルの一生を分かりやすく講演された後、残念ながらホタルの数は昔に比べて減少してきており、理由は次の四つが考えられると話した。一つ目は、農業・除草剤の使用によって田・川等が棲みにくくなったこと。二つ目は、護岸工事が進められることによって棲み家がなくなってしまうこと。三つ目は構造改善事業による土の入れ替えによって生き物の種が切れてしまったこと。四つ目は街路灯の設置によって棲むのが嫌いな場所が広がってしまったこと。これらのことが原因でホタルは減少し、ホタル以外の生き物も減少してきている。さらに藤山先生はいくつかの生物の生態を事例にあげ、自然の中には人間では不可能なことができる生き物がたくさんおり、生きていくうえで人間は100%生き物に依存している。そのため、

人間は身の回りの自然を大切にしなければならぬと語った。

研究会後半では、参加者はやまぶき天伯峡へと移動して藤山先生とホタルの観察会を行った。天伯峡はゲンジボタルの生息地として知られ、十六日からほたるウィークが始まっており、ホタルは夕暮れ後一、二時間程度しか活発に活動しないが、たくさんのホタルを確認することができた。当日は多くの人々が天伯峡でホタルの写真を撮ったり、家族友人でホタルを見たりしていた。このように多くの

人を惹きつけるホタルを十年後二十年後変わらず見続けるためにも、普段から自然に向け自然を大切に、ホタルもその他の生き物も棲めるよい自然を作っていくかなければならないと感じた。

(公民館事務局 麦島祐太郎)



史学会歴史講演会

若部憲法学と現実

6月27日

史学会員 上市場

大原俊秀

新型コロナウイルス禍で集会や講演会が制約されており、今回は、今回は歴史講演会を遂行することとなり、信濃毎日新聞編集委員渡辺秀樹氏を招き、「若部憲法学と現実」という演題で行われました。若部信喜氏は戦後の日本を代表する長野県出身の憲法学者、東京大学名

誉教授、文化功労者。約六十名の聴講者で始まりました。若部信喜氏自身も戦争体験者、陸軍金沢師団に入営しておりました。

その当時は軍国主義で、強まる思想統制、理不尽な古兵らのリンチ、個性も人間の尊厳も頭から無視をして、絶対服従の強要をされていた非人間性を生涯にわたって嫌悪していました。

戦後現実の矛盾を分析できなかつた、盲従の過去を

深く反省せず、敗戦の責任を全て戦争責任者に集中させていました。

連合軍最高司令官、マッカーサーは当時の首相に、憲法の自由主義的改革を要請しました。これを受けて憲法問題調査委員会が設置された。師匠となる、長野県出身の東大教授の宮沢俊義氏もメンバーになっており、若部氏は憲法研究の気持ちで固めたそうです。

憲法について、いろいろ



分り易く解説して頂きました。

私は憲法九条を守る会の会員であり、気になっている事は、政府は九条に自衛隊を明記しようとしています。

明記をした場合、戦争放棄、戦力不保持、交戦権の否認は死文化、戦争できる、同盟国が攻撃されたら、交戦権を加担できるようになります。

若部氏は二度と戦争を繰り返さないように、平和と人権が守られる社会を築いていくには、憲法の基本原則を固く守ることが重要であると記述しています。

段立

今多くの人がとって一番の関心事はコロナ禍およびオリンピックだろう。コロナ騒動が始まってからもう一年半になる。これによって飲食店業、観光業、宿泊業等に関わる多くの人の生活が狂ってしまった。関連する人を含めるとどのくらいになるか計り知れない。ワクチン接種が進んでいるが、劇的に収まる状況には無い。沖繩を除き緊急事態宣言が解除され、長期間の自粛生活に疲れた人々のタガが外れかかっており、堰を切ったように感染が再拡大するのはないかと心配だ。オリンピックが絡んでいることで事態は余計に複雑になっている。医療従事者、生活が狂ってしまった人々等の心情も大きく作用し、開催には今もって賛否両論があり、まだ紆余曲折がありそうだが、この原稿が館報に載る頃には開会式が挙行されているだろう。代表選手に選出されることを目指して、血の滲むような努力、練習を重ねてきた人にとっては晴れ舞台だ。何とか競技が無事に進行することを願うばかりだ。

台風、噴火、地震等の自然災害の発生、また未知な病原体の出現など、何が起きるか予測困難な現代を生きている我々にとって非常に暮らし難い世の中だ。一方で予想を遙かに超越する早さで進む画期的な技術で、事前に予防できる日が早期に実現することを望みたい。

(桐崎長二)

蛇川下流域三六災害体験談(26)

無理な計画の中から本山・戸中残土問題が生じた

原章(古畑)

☆大都市間を結ぶ超特急の負の側面☆

確かに速いは便利なことかもしれないが、そういった面に目を奪われ、それ以外の大切な事を見失ってはいけません。速く移動するためにリニアは直線の線路が選択されました。そこには大山脈も大断層もあります。そんな自然の実情も構い無しとばかりにトンネルを開けて、まっすぐにしてしまうわけです。

☆無理な計画のしわ寄せ☆

長大なトンネルを掘れば、当然に残土は膨大です。山岳地帯に置くには適切な候補地はみつかりません。山がちな道路事情では、ほかへ運び出すのにも困難です。特に、谷に残土を処分することは、はなはだ危険です。

元々が無理を通そうとする計画なので、自然環境や地下水などにも深刻な影響を与えるのです。

☆大量、山奥、谷埋め盛土に対処できない☆

本山のよう

な「山奥」への「谷埋め盛り土」については、全国的にもほとんど例がありません。そのため、基準が十分に既有的法律などを準用するなどして曖昧な計画となつていま



リニアトンネルが貫く豊丘の山地(座光寺側から)

で、対応しきれないないわけですから、こういう状況で何か起これば、簡単に「想定外」の言葉で済まされそうです。(続く)

昭和七年に山吹の宮島家で六人きょうだいの三女として生まれた。養蚕が最盛期の頃で同家も例外では無かった。最年長の長女とは十歳離れていたが、皆仲が良く賑やかな家族であった。小学校、高等科、そして青年学校で三年間学んだ後、自宅で働き始め農業を手伝いながら青年団に入り活動した。地域の代表となる郡青に推され、三年間ほど勤めた。各市町村から一人ずつの代表が集まり諸問題に

関して意見交換を行い、時

保障や、お金を借りられることも含めた経済的資源に

対し平等の権利が持てるようにする。国際間の開発協力をする。貧困をなくす取組への投資拡大を国等が支援するなどです。

富かな国、大丈夫だ、と思いがちですが新型コロナウィルスの影響で職を失った人が増加しており、貧困率はここに来て上昇していると考えられます。

最近経済的な貧困・子ど

もの貧困・生理的貧困などの言葉を耳にする機会が多くなりました。

この目標1に対して私たちにできることは何かを考えてみましょう。

①まずは世界中にある貧困を正しく知ること

②日本の貧困を知り、身近に存在する貧困を知ること

③自分は貧困ではないと思

う方は、なぜそう思えるのか考えてみる

④地球上でなぜ貧困が起

るのかを考えてみる

⑤世界の貧困層を救うため、少しでも寄付、支援物資(リユース)の提供をしてみる

まず貧困を正しく知ることが肝要と思われま

す。公

民館として精一杯応援させていただきます。

実行してみたいと思います。この春からの公民館学習会、成人講座よりSDGsについてもっと勉強をしてみたいというアンケートが多く寄せられています。公民館としてどうするか検討中ですが、実は村民の皆様からSDGsを自分事として、そんな場面を設けるような要望が生まれてくることを心の内で願っています。是非思いをお寄せ下さい。公民館として精一杯応援させていただきます。

文責 桐崎長一

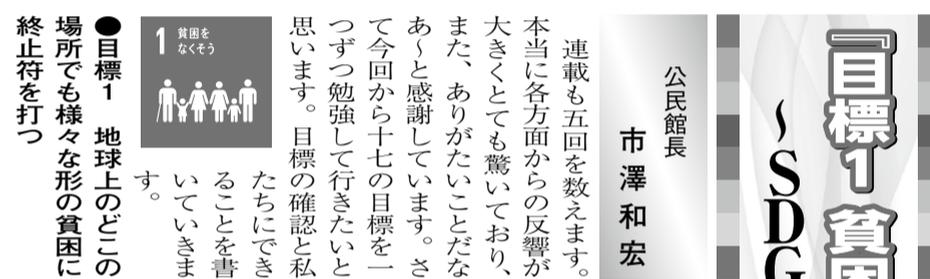
第2回 成人講座

生きづらさを生む脳、超える脳

成人講座運営委員 昼神賢児

「脳科学」と聞けば、普段の生活では聞き慣れない言葉が並びがちである。ドーパミンは、中枢神経系に存在する神経伝達物質で、アドレナリン、ノルアドレナリンの前駆体でもあり、新しい知識が長期記憶として貯蔵される際、ドーパミンなどの脳内化学物質が必要

になる。等、ここまでで読むのを止めてしまいたくない。そんな取っつきにくい脳に関する話を、NHK「チコちゃんに叱られる」や「あさイチ」などでなじみの諏訪東京理科大学 篠原菊紀先生にオンラインでわかりやすくユーモアを交えてお話をいただいた。健康寿命という言葉を聞くようになって久しいが、ここには頭脳からくる不具合も当然影響してくる。体だけ元気でもダメ、逆もまた然り。講演を聴きながらなぜ信州の「びんびんころり」という言葉が脳内を駆け巡っていた。これほど端的に健康寿命を言い表す言葉もなかなか無いだろう。飲酒はほどほどに禁煙しなさいは耳が痛い言葉だったが。



このコロナ禍において多くの人が少なからずストレスに晒されていると思う。不安からくる価値観の分断は、私たちにどう健康被害の危険とともに大きな災いとなっている。先生によれば、神経症傾向の46%は遺伝要因、残り54%が環境要因らしい。約半分は自助共助によつて変えられる。さまざまな過程を経た今が個性であり、多様性を認め、俯瞰的に物事を見つめ、そして新しい時代を生き抜きたいものである。

公民館長 市澤和宏

連載も五回を数えます。本当に各方面からの反響が大きくとっても驚いており、また、ありがたいことだなぁと感謝しています。さて今回から十七の目標を一つずつ勉強して行きたいと思

います。目標の確認と私たちにできることを書いていきたいと思います。

●目標1 地球上のどの場所でも様々な形の貧困に終

止符を打つ

ターゲットは全部で七つ。内、具体的な目標五つ。この具体的な目標を達成するための方法は二つです。内容は世界中で一日一・九ドル未満で生活する極度の貧困を終わらせる。あらゆる面での貧困状態を半減させる。貧困層や弱者に社会

シシリーズ「元氣な高齢者」⑧

若い日の苦勞 嘔みしめ今懐かしむ

福澤フキエさん 八十九歳 城在住

には映画鑑賞するなどして親睦を深め、一部の人は後々まで付き合いが続くほどの大切な友人となった。フキエさん二十二歳の時、叔母の紹介により、六歳上の福澤登さんと結婚し、現在地へ嫁いで来た。登さんは七人きょうだいの長男で、同級生数人が駆けつけ祝ってくれ大いに感激した。一挙に十人家族の家事一切を任されることになり、毎日大釜で一升のご飯を炊き、大量の洗濯物にも苦勞した。近くに精米所が無いため背板に玄米をくり、田村の新道まで通ったことを鮮明に覚えている。まだ小学生と中学生であった義弟には弁当作りも日課であった。

福澤家は三反歩の桑畑を有する養蚕を中心し、麦も手掛ける大規模農家であった。養蚕に関して伴野にあった稚蚕飼育所に当番

お産に関して辛い思い出がある。最初の子の時、出産間近まで苗取りで水田に入っていて急に産気づいたが、早産ゆえに当時の技術では対応し難く死産してしまつたことだ。暫くは実家で療養していたが一月月で復帰した。その後二人の子を無事出産できた。

義父は公務で忙しかったこともあり、農業をほとんど登さんに任せっきりの状態であったため登さんの心労は大きかった。持病の腰痛を手術したが、医者から農業継続は無理と言われ、その対処として縁あってタクシー会社に勤め始め、事務からやがて運転手になり、十年間働いたが、無念にも昨年亡くなった。

高等科時代に出来なかつた修学旅行を、卒業後四十年経った昭和六十一年に行き伊勢路に行けたことは大きな喜びであった。同時に記念の文集「野満富喜(ヤマブキ)」を刊行した。このような事業に実行委員として参加し、無事やり遂げられたことは非常に懐かし

いし、文集は大切な宝物だ。楽しみの一つは旅行で、郵便局主催のハワイ、シンガポール、中国など海外に夫婦で出かけた。他にも農協主催の旅行にも参加した。また歌謡ショー見物で名古屋や東京まで行ったことも懐かしい。今は「ほほえみ」に週二日通い気の知れた仲間と会話、食事を楽しみ、お風呂で体を伸ばし、つるつるが何よりの喜びだ。他には文章を書くのが好きなで、五年日記が六冊もある。今でこそこじんまりとなつた野菜作りは、作付け時期、品目、肥料など内容を細かに記録していた。これも文章好きで几帳面な性格ゆえかなと思つている。健康面ではこれまで大病を患つたことがない。しか

文責 桐崎長一



△移動図書のご案内▽

八月の移動図書
三日(火) 伴野勤労者福祉センター
五日(木) 小園研修センター
六日(金) 壬生沢福島集落拠点施設
時間 午後八時〜九時

△本の紹介▽
『世界の猫の民話』
日本民話研究会(編訳)
筑摩書房
身近な生き物である猫について、猫の由来や、黒猫、魔女やネズミの話などが載っています。違う国の話なのに、似ているものもあり、興味深いです。『世界の犬の民話』もありますので犬好きの方はこちらもいかがでしょうか。



『フライパンひょうで魚のごちそう』
ダンノマリコ(著)
青春出版社
フライパンでらくらくごちそうが作れます!夏に食べたくなる、さばカレーうどん、きすと豆腐の蒸し物、梅肉だれ、さわらのレモン幽庵蒸しなど、どの料理も美味しそうです。



『デジタル・シティズンシップ』
丸山政也(著)
竹書房
暑い夏といえば、やはり怪談ではないでしょうか。下伊那郡のおしろく、おぼさ、などの身近な場所の怪談も読むことができます。中には南信地方、とだけあり、具体的な場所は伏せられていて怪談も…。この本を読めば、暑さを一時、忘れることができそうです。

『信州怪談』

丸山政也(著)

竹書房

『デジタル・シティズンシップ』
坂本旬・芳賀高洋・豊福晋平・今度珠美・林一真(著)
大月書店
今、小学校では一人一台パソコンやタブレットが配られる時代です。小学生がインターネットを利用するときに、安全に使えるのか。



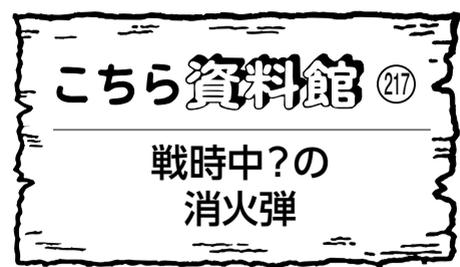
『田の民話』
今、小学校では一人一台パソコンやタブレットが配られる時代です。小学生がインターネットを利用するときに、安全に使えるのか。



『とよおか100年前』
『豊丘村民話集』より
神徳降酒 武田彦左衛門
いつだったか、もう古い

『オオカミと野生のイヌ』
近藤雄生(本文)
菊水健史(監修)
澤井聖一(写真解説)
エクスナレッジ
この本には、「なぜ、オオカミの目は印象的なのか?」など、なるほど、と思う解説が沢山載っています。自然の中に生きているオオカミを、目線に合わせて撮影できる澤井さんは、オオカミが怖くないのだからか?と気になりました。皆さんは、写真をどうご覧になるでしょうか。

話だ。俺がお伊勢参りに行く途中、汽車の中で一献傾けていると、隣り合わせに乗ったのが商人体の男であつた。旅は道づれ、一杯すすめながら話は酒のことになつた。この男は灘の酒の売り込みに諸国を旅するのだという。
「旦那、一本注文しとくんなせエ」と、しきりに銘酒の効能利益を説明する。そうくると旅の銘酒も一本ばかいいなと思つて、話はどうめえし、一杯機嫌でつい注文しちまつた。でえぶ前のことだ。いい酒だし、値もなかなかよかつた。一きん(一升)五円(今のおよそ五万円)という上等二斗樽一本を頼んでしまつた。それから帰つて来てのこと。さて、注文したが届きやあいいが心配しとつたら、さあ来たわエ。さつそく栓を抜いてなめてみるとたまらない。長い道中を運送や馬の背でゴシヨゴシヨン振りたくつて来たんだわエ。よく見ると樽のかがみから胴腹に竹釘が五、六本打ち込んである。こいつはいつだったか、もう古い



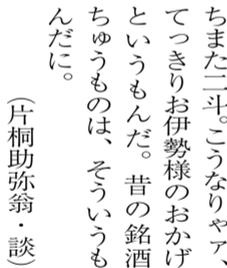
写真は「消火弾」と呼ばれる手投げ式の消火器です。

第二分団の本部詰所を整理していたところ、棚の奥から見つかったというので、役場環境課を通して資料館に寄贈いただきました。高さ二〇cmほどのガラス容器に黒褐色の液体が封入されています。これを火元に投げつけて火を消したのと思われま。たぶん今の蓄圧式の消火器が出回る前に使われた物なのでしょう。しかし、いつ頃作られた物か?が気になります。

ラベルに mituya shiki svokadan(ミツヤシキウカダン)とローマ字で書かれていることから、当初は戦後の物と思いましたが、発見した方にその時の様子を聞いたところ、どうもそうではなさそうです。「棚の奥からこの消火弾を見つけたときは、ポロポロになった紙の箱に入っていました。箱は処分してしまいましたが、表に使用方の説明があつて、全部カタ

カナで書かれていました。』とのことでした。戦後、カタカナは主に外来語を表すのに使うようになったので、これが作られたのは戦前または戦中の可能性が高くなつてきました。そこで、ネットで調べたところ、「消火弾は、第二次世界大戦中の日本では、空襲による火災の備えとして生産され

た。」という記述を見つけました。どうも、この消火弾は、戦時中、空襲の備えとして消防団各家庭に配られた物の残りと考えた方がよさそうです。
(資料館主任 唐澤武彦)



柿の花こぼれて色の重なり癒ゆる日を夢みて今日の暑さかな
みどり風コロナワクン今日打てり
桜桃忠おばの形見の江戸切子
牡丹寺にぎわいよそに絵島の墓
松蟬の暮残る山に声しほる
アルプスを仰ぎて今日も新樹晴
絹扇母の香りの遣りわり
徒然草の声明朗と青葉風
磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
森田 恵子
三島 里子
木下 眞水
松岡 照子
宮下 純子
林 恵美子

俳句 短歌

昨今はテレビにラジオにと耳目を傾け、祖先から語り伝えた民話のごときは聞き手も少なく、伝承される機会がなく、果ては消失滅亡に瀕しつつあります。民話は遠い先人たちの生活経験、心の触れ合いによつて生まれた尊い話が多いのです。この時代これを収録して伝えることは私たちの急務であります。
昔は囲炉裏端で毎夜、家内そろつて洪茶を飲みながら昔話に花が咲き、おのずから和敬の心が養われ伝えられたものでした。
方角幌助啼幽林
槽火団欒夜雪深
爺語妖靈婆話猪
肝衝握汗鼓童心
「ホーホーホロスケ」幽林に啼く
槽火だんらん夜雪深し
爺は妖霊を語り婆は猪を話せば
目をみはり汗を握つて童心を鼓す
(豊丘村民話集・第三集(昭和五十三年)より)
文責:壬生雅穂

柳 (豊丘村川柳クラブ豊柳会)
▼課題「里」 福次勝美 選
ふる里は足遠のいてラインのみ 小澤 凜
新聞に古里の記事懐かしい 安田 喜子
心配をかけた父母里の墓 原 美風
軸吟:山里の神輿止めたに五輪如何
▼課題「上」 互 選
上を向いて歩き九ちゃん空に散る 桃沢 健介
上出来と自分をほめて今日も終え 林 もも子
経済の右肩上がり待ち遠し 久保ひろし
相槌を適度に入れて聞き上手 西元 峯子
▼自由吟 桃沢健介 選
コロナからモリカケ桜逃げた人 山本 義彦
気温差で炬燵同居の扇風機 市沢 照子
コロナ禍の五輪命を守るか 福沢 勝美
軸吟:民の声無視し強行パッサガ

植田どの畦に立ちても駒岳写す
さや豆の煮びたし匂ふ母忌日
姫沙羅の落ちて命を知らしめる
鋭角に鋭切りさくや夏つばめ
山滴るロープウェイ一直線
凜としてひと日の命沙羅の花
人声も雨と韻けり鴨足草
(とよおか短歌会)
河川敷外来種とう錦鶏菊去年より増していち面黄に染む 筒井 恵子
父の日に好物届いた朴葉巻き葉脈のあとほのかな香り 福澤貴美恵
米寿にて曾孫たちより花束と似顔絵もらいうるうるとなる 壬生 千春
夜鍋して山椒の実を煮付けする著き香りは部屋内に満つ 松尾ヒサコ
泰平に暮らす蚯蚓草抜けば光射し込み右往左往す 大原真由美
水無月の月明かり浴び瑞瑞し庭の青梅は暁天の星 福澤 郁文
二尺余の雑草はびこるタラ林新芽確かめ鎌で刈りとり 松下 泰見
年ごとに老いゆくさまの早くなる今年の早さ殊更に疾し 毛涯百合子
東海の小島の磯に汚染水流さるとふ蟹は戦く 福澤 亀人
(前号の訂正)
コロナにて慄きつつもこの季節花は咲きたるひるむことなく 毛涯百合子

第二分館

マレットゴルフ大会

6月27日



苦しい切り打てば勢い余ってOB…。軽く打てばカップには程遠い…。それに比べ、ご年配の方々はずがでした。同チームの方に、コッやアドバイスももらいな

マレットゴルフ大会に参加して

第二分館社会部長 池野ゆかり

今回、初めてマレットゴルフ大会に参加させていただけました。コロナ禍での大会でしたが、役員の方の道具の消毒や検温、問診表の提出など、感染予防の対策をしっかりとって下さり、プレイしやすい曇空

の下、小学生からご年配の方々まで、八チーム二十四名で午前九時三十分スタートとなりました。



入賞された皆さん

から、なんとかコースをまわり、こんなに体力がいるものなのかと、日頃の運動不足、体力不足を痛感しながらも、心地良い汗をかくことが出来ました。まだまだコロナの影響で色々な行事が中止せざるを得ない状態が続いています。が、久しぶりに楽しかった、いい汗をかいたと、言ってくれた方や毎年楽しみにしている方もいたようで、今年が大会が開催されてよかったと感じました。また、スムーズに進行が出来るように、尽力して下さった役員の方々、大変お疲れ様でした。



コンパクトデジタル 使いこなして写真力アップ!!

中級クラスからコンデジには、撮影モードがあらかじめ用意されています。ひとつひとつのモードを理解することで、自分が表現したいモードに素早く設定できます。

なぜ色々なモードがあるのでしょうか カメラを見ると上面には様々な撮影モードがありま

Pモードとは? Pとはファクトのピーではないのですか。 Pモードとはプログラムモードのこと、カメラ側が基本となる絞り(F値)

と同じ扱いとなるのです。迷ったらPモードにしてダイヤルを回し好みのスピードや、絞りの数字になるまで試してみることです。

2年ぶり 公民館ゲートボール大会を開催

6月25日

豊丘村屋内ゲートボール場(スポーツ館)において、公民館ゲートボール大会が六月二十五日に開催されました。好天となったこの日は、蒸し暑くもなく、スポーツ館へ心地よい風が吹き込むとともさわやかな初夏の日となりました。

公民館主催によるこの大会は例年六月に開催されておりましたが、昨年はコロナ禍のため開催できず、二年ぶりの開催となる今年六月は、チーム二十名の皆さんに参加いただきました。

当日は午前八時から参加者の皆さんにご協力いただき会場準備をし、下平村長を来賓に迎えて午前八時三十分から開会式を、その後午前中いっぱいかけて競技を行いました。

参加された皆さんは、競技に向かう姿勢の真剣さ・厳しさをもちつつも、楽しくはつらつとプレイされているように見受けられました。私自身、ゲートボールの試合を見ることはこの日が初めてで、

思っていた以上に歩く(むしろ歩き回る)競技だと思いましたが、そして打つ位置にボールを置く、ボールを拾うといった動作も頻りにその都度屈んだりしなければなりません。審判員はボールを打った結果を大きな声でコールします。



ISO220、F5.0 1/60 で撮影。ボールに動きをつけてブラした

豊丘の自然

ミスジマイマイ (ナンバンマイマイ科)



5/11、6/4、6/30と立て続けにミスジマイマイの交尾を確認。死体も多かったため合わせて紹介する。とは言え、ここからは飯島国昭さんの文章で。

カツムリは雌雄同体(雄、雌の性質を両方持つ)。でも、交尾はする。恋矢という角状のもので、たがいにつきあい精子を交換。最近、ミスジマイマ

イを見かけなくなった。同種にとつては出会いのチャンスが減ったことを意味する。そんな時には自家受精(自分の精子と卵子で)で産卵。でも、この交尾・産卵期は外敵に一番ねらわれやすい時でもある。交尾中はほとんど移動しないし、産卵に十六時間かけた例もある。死体の大部分がバラバラになっていることから想像できる。飯島国昭



ボールが見やすい位置へ素早く移動することも求められます。体を維持するためには、これらすべてが正しい運動だという印象でした。参加された方にお話を伺うと、とても楽しいし、相手の動きを読む必要があり頭の体操にもなるとおっしゃっていました。

技者は年々減少してきているとのこと。人生百年時代とも言われてきている。昨今、ゲートボールのような生涯を通して行える競技に、是非、挑戦してみたいかがでしょうか。

Table with 2 columns: Rank (順位) and Team Name (チーム名). Lists winners and runners-up.

※第3位以下は得失点差により順位を決定

(公民館事務局 松村幸紀)